

令和元年 9 月 26 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

広報広聴委員会委員長 内山 美穂子  
外 4 名

### 議員派遣結果報告書

令和元年 6 月 21 日に決定された議員派遣について、次のとおり報告します。

#### 記

- 1 派遣名 議会広報研修会〔北海道町村議会議長会主催〕
- 2 目的 議会広報作成に必要な知識・情報を習得し、より住民に親しまれる「議会だより」を発行するため。
- 3 派遣場所 ポールスター札幌（札幌市中央区）
- 4 派遣期間 令和元年 8 月 20 日（1 日間）
- 5 派遣議員 内山美穂子、荒貴賀、石川康弘、岡本眞利子、酒井はやみ  
（以上 5 名）

#### 6 派遣内容

##### 【議会広報研修会】

##### （1）内容

講義・クリニック 『読者目線で親切な広報紙を作るには  
～手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには～』

講師 「月刊総務」 編集長 豊田健一 氏

##### （2）所感

講師の豊田編集長は数々の社内報コンクールで審査員をされた経験を生かし、鋭い視点で議会広報紙の現状について指摘された。研修会の冒頭で「議会広報紙で何より重要なことは、課題を共有すること、読者の共感を得られることであり、発行は手段であって、住民がアクションを起こすきっかけになるものでなければならない」と話された。まずは手に取って読まれなければ何の意味もないとうことを力説され、「この条例改正は自分たちにとって

どんな影響があるのか」、「この質問は自分たちにとってどうなのか」といったつながりを感じさせる紙面づくりが大切であると話された。

議会広報紙は、住民が町の課題を知り、議会への関心を強めて議会に参加し、議会と共により良い地域社会を作っていく手段である。同時に、紙面の制約や読まれないとその目的すら達成されないという限界もあるとされた。

これらを踏まえて、広報紙が十分にその役割と機能を発揮するために、いかに住民に読んでもらえる広報紙を作成するか、いくつかのポイントが提起された。

住民の関心の高いテーマに思い切って絞り、議会で議論されている課題が住民の生活にどうかかわってくるのか分かりやすく取り上げる。紙面の制約があれば要約だけ掲載し「続きはウェブへ」とホームページにつなげる。わかりやすい言葉を使い、タイトル・リード・小見出しをつけて親切的な紙面にするなど工夫する必要があるとした。また、様々な住民に登場してもらい、住民が身近に感じる紙面にすることや、読んでもらいたいターゲットを絞ること。住民にモニターを依頼し紙面の改善を図るなど、より充実したものに発展させていく方向性も示され、住民と議会の架け橋である議会広報紙をより充実させていく重要性を学んだ。



8/20 議会広報研修会



8/20 議会広報研修会